

小樽商科大学 卒業論文 (昭和52年度)

年度	番号	論題 (Theme)	備考
昭和52	4766	「4766」は修士論文	
昭和52	4767	(翻訳)E.S.メーソン、R.E.アッシャー共著 『国際復興開発銀行25年史』 (上巻・中巻・下巻)	3分冊
昭和52	4768	アメリカ社会の一側面 -アメリカ留学記	
昭和52	4769	信用状当事者間の法律関係	
昭和52	4770	金問題とSDR IMF協定第2次改正	
昭和52	4771	コンテナ複合運送における運送人責任	
昭和52	4772	ユーロ・ダラーとその展望	
昭和52	4773	信用状	
昭和52	4774	新IMF協定 -国際通貨体制の変遷と展望-	
昭和52	4775	イギリスのGilt-edged Market	
昭和52	4776	貿易取引における海上保険の意義とその機能	
昭和52	4777	海上保険一般理論	
昭和52	4778	輸入金融における銀行の営業のしくみ	
昭和52	4779	円高相場と日本経済	
昭和52	4780	南北問題と国際金融体制	
昭和52	4781	新しいIMF体制の誕生 -ブレイン・ウッズ体制の成立とその変遷、崩壊に 至った経緯について-	
昭和52	4782	IMF -その歴史と改革	
昭和52	4783	1977年の円高傾向に関する実証的研究	
昭和52	4784	コンテナB/Lと信用状取引	
昭和52	4785	拡大ECと発展途上国 -一次産品問題とロメ協定-	
昭和52	4786	信用状当事者間の法律関係	
昭和52	4787	個人貯蓄の研究	
昭和52	4788	不明	現物なし
昭和52	4789	労働市場と雇用 -その動向と長期的変化について-	
昭和52	4790	日本の国際収支と貿易	
昭和52	4791	農業経営の分析	
昭和52	4792	わが国海外投資の研究	
昭和52	4793	財政政策の理論と戦後日本の実際 -経済安定政策とその評価-	
昭和52	4794	地域格差の分析	
昭和52	4795	過疎と北海道	
昭和52	4796	北海道の流通問題	
昭和52	4797	札幌市の道都性	
昭和52	4798	北海道の産業構造 -産業連関表を用いて-	
昭和52	4799	福祉論	
昭和52	4800	戦後日本の貿易に関する研究 -輸出問題を中心として	
昭和52	4801	日本における金融政策	
昭和52	4802	経済構造の地域格差分析	
昭和52	4803	都市化の問題と政策	
昭和52	4804	現代の中小企業	
昭和52	4805	地域開発金融の諸問題	
昭和52	4806	農産物の需給構造分析	
昭和52	4807	全国総合開発計画の分析	
昭和52	4808	食料自給度の研究	
昭和52	4809	我が国の在庫投資	
昭和52	4810	北海道と稲作	
昭和52	4811	戦後日本経済の成長	
昭和52	4812	大都市地域の発展	
昭和52	4813	戦後日本の経済成長と国際経済について	
昭和52	4814	最近の物価上昇の本質 -インフレーションの研究-	
昭和52	4815	公債の理論と実際	
昭和52	4816	財政政策の理論	
昭和52	4817	多変量解析の計量経済分析への応用	
昭和52	4818	決定問題と情報	
昭和52	4819	ダミー変数	
昭和52	4820	ケインズ動学としての景気循環理論の一考察	

小樽商科大学 卒業論文 (昭和52年度)

年度	番号	論題 (Theme)	備考
昭和52	4821	大量の国債発行に対処すべき財政政策を考える	
昭和52	4822	日本経済の二重構造	
昭和52	4823	資本蓄積と賃金	
昭和52	4824	狂乱物価を中心とした戦後日本のインフレーション	
昭和52	4825	非自発的失業モデルと若干の政策的帰結	
昭和52	4826	自然失業率と合理的期待形成の理論	
昭和52	4827	失業とインフレーション	
昭和52	4828	ソ連の農業問題	
昭和52	4829	南北問題	
昭和52	4830	高齢労働者と老令年金	
昭和52	4831	幕末から明治における日本労働の歴史的考察	
昭和52	4832	多国籍企業の発展と将来	
昭和52	4833	管理価格と大企業の管理価格維持政策	
昭和52	4834	戦後日本経済の金融的特質	
昭和52	4835	経済体制論	
昭和52	4836	財政の自由	
昭和52	4837	労働経済論-新古典派とケインズ	
昭和52	4838	戦後国際通貨体制の展開とドル危機	
昭和52	4839	不換銀行券論争に関する一考察 -インフレーション解明への基礎理論-	
昭和52	4840	An Economic History of Australia -オーストラリア経済史研究-	
昭和52	4841	戦前の小樽における港湾労働史の研究	
昭和52	4842	ワイマール共和国の記念銀貨 -その歴史的考察-	
昭和52	4843	マルクスの価値形態論に関する小研究	
昭和52	4844	アメリカ独占資本研究序説 -その覚え書き-	
昭和52	4845	近代日本の「家」の端緒	
昭和52	4846	「自由論」の現代的意義について -“自由”の歴史的総括-	
昭和52	4847	幕末南伊予における封建制度の崩壊過程	
昭和52	4848	日本金融資本の確立	
昭和52	4849	金融史にみる小樽経済史 -明治20年代より第二次大戦まで-	
昭和52	4850	幕末における変革思想の形式 -危機脱却の様々の試み-	
昭和52	4851	日本における本源的蓄積の特質	
昭和52	4852	長州藩尊王攘夷派の形成と転回	
昭和52	4853	三里塚闘争 -私たちに与える問題提起-	
昭和52	4854	幸徳秋水 -その革命的思想と人間伝次郎-	
昭和52	4855	回帰分析について -線形空間への射影による方法-	
昭和52	4856	インフレーションと貨幣需要の理論	
昭和52	4857	多国籍企業金融における外国為替差損の防御とその意思決定	
昭和52	4858	ユーロ・ダラー預金乗数ポートフォリオアプローチ	
昭和52	4859	ワールド・インフレーション	
昭和52	4860	先物為替、投機と国際資本移動	
昭和52	4861	グローバル・マネタリズムと国際収支のマネタリーアプローチ	
昭和52	4862	国際通貨とポンド改革	
昭和52	4863	最適通貨地域の理論	
昭和52	4864	日本企業の海外マーケティング戦略	
昭和52	4865	多国籍企業IBMにおける経営	
昭和52	4866	即席めんと別添スープ	
昭和52	4867	消費者の権利とその保護	
昭和52	4868	生命保険とマーケティング	
昭和52	4869	消費者運動と消費者行政の動向 -消費者問題を解決するために-	
昭和52	4870	ビール産業	
昭和52	4871	小売店の売価を考える	
昭和52	4872	社会変動と流行	
昭和52	4873	店舗構成とディスプレイ	
昭和52	4874	百貨店の現状と課題	
昭和52	4875	広告会社論述	
昭和52	4876	実現概念の歴史的変遷に関する一考察	

小樽商科大学 卒業論文（昭和52年度）

年度	番号	論題 (Theme)	備考
昭和52	4877	制度会計の概念とその理論をめぐって	
昭和52	4878	アメリカにおける会計監査の歴史について	
昭和52	4879	「試験研究費」について	
昭和52	4880	特定引当金の本質とその現実的機能 -制度寄生の究明と公表財務諸表制度-	
昭和52	4881	任意積立金に関する一考察	
昭和52	4882	連結財務諸表制度に関する一考察	
昭和52	4883	インフレーション会計	
昭和52	4884	ムーニッツの「基本的会計公準論」について	
昭和52	4885	減価償却について	
昭和52	4886	繰延資産について	
昭和52	4887	株式配当の所得性について	
昭和52	4888	社会会計に関する若干の考察	
昭和52	4889	資本金論	
昭和52	4890	小売競争について一考察 -小売競争行動と空間的競争	
昭和52	4891	価格決定	
昭和52	4892	広告コミュニケーション計画	
昭和52	4893	消費者行動における社会学的接近	
昭和52	4894	マーケティング情報システム	
昭和52	4895	広告コミュニケーションにおける広告の反応プロセスモデル	
昭和52	4896	マーケティング・チャネルの管理と交渉モデル	
昭和52	4897	一時的狂気と社会心理学的背景	
昭和52	4898	アイルランドの飲酒問題	
昭和52	4899	ユメ・タケヒサ	
昭和52	4900	自動車考	
昭和52	4901	「バーナード理論の分析」 篠崎ゼミナール共同研究	
昭和52	4902	条件適合理論に関する一考察	
昭和52	4903	経営戦略と環境分析	
昭和52	4904	組織と動機づけ	
昭和52	4905	現代経営と企業の社会的責任	
昭和52	4906	総合商社と経営戦略	
昭和52	4907	経営組織と人間関係	
昭和52	4908	労務管理と労使関係	
昭和52	4909	日本的経営と組織風土 -基盤とその変化-	
昭和52	4910	官僚制組織と人間関係論	
昭和52	4911	人間関係と動機づけ要因	
昭和52	4912	現代経営学の方法論的吟味	
昭和52	4913	労使関係と経営参加	
昭和52	4914	企業の新しい理念と社会的責任	
昭和52	4915	経営管理と経営組織	
昭和52	4916	事業部制と予算統制	
昭和52	4917	現代経営とコミュニケーション	
昭和52	4918	労使関係と経営参加	
昭和52	4919	企業行動と組織	
昭和52	4920	経営計画と情報	
昭和52	4921	経営管理と組織革新	
昭和52	4922	リーダーシップ研究の史的展開と課題	
昭和52	4923	現代企業と意志決定	
昭和52	4924	市場の国際化と多国籍企業	
昭和52	4925	日本的経営と人事管理	
昭和52	4926	中小企業経営合理化論	
昭和52	4927	待ち行列の実際 -スーパーのレジの最適化-	
昭和52	4928	札幌市内における情報処理サービス業の実態	
昭和52	4929	輸送線型計画法	
昭和52	4930	人口知能への発見的プログラミングによるアプローチ -五目並べプログラミング-	
昭和52	4931	ゲームの理論 -問題解決の理論-	

小樽商科大学 卒業論文（昭和52年度）

年度	番号	論題 (Theme)	備考
昭和52	4932	オセロゲームのプログラミングと強化 -発見的プログラミング例-	
昭和52	4933	プロジェクト組織とマトリックス組織 -個人人格と組織人格との葛藤モデルに関する試験的研究-	
昭和52	4934	企業総合評価 -北海道版-	
	4935	欠番(次年度繰り越し)	
昭和52	4936	動的情報構造とPASCAL-S コンパイラ	
昭和52	4937	BCPL処理系の移植	
昭和52	4938	現代公企業・国鉄再建の道を考える	
昭和52	4939	コンピューター産業	
昭和52	4940	OPECの機構、石油戦略、そしてその将来	
昭和52	4941	ゼネラル・モーターズの多国籍化の要因	
昭和52	4942	経済法理論の展開 -公共の利益に反する企業行動に対応する経済法についての一考察-	
昭和52	4943	世界石油情勢と日本の石油政策	
昭和52	4944	日本における法人各否認の法理の適用要件の実際	
昭和52	4945	名義書換前の株式譲受人の地位 -会社の側から株主と認めることの可否-	
昭和52	4946	共同代表と意見代表取締役 -共同代表の定めがあるのに単独で代表行為をした場合に商法262条の適用があるか-	
昭和52	4947	名板貸人の営業の範囲と名板貸責任	
昭和52	4948	外観主義と商法262条	
昭和52	4949	株主総会決議取消の訴と裁量棄却	
昭和52	4950	商法265条と手形行為	
昭和52	4951	非上場会社株式の評価	
昭和52	4952	法人格否認の法理の問題点	
昭和52	4953	取締役の競業避止義務	
昭和52	4954	決議取消の訴と裁判所の裁量棄却権	
昭和52	4955	株主総会決議の瑕疵	
昭和52	4956	株主総会決議不存在確認の訴の適否	
昭和52	4957	危機、政治、世界、人間への考察	
昭和52	4958	日本の東南アジア進出と経済ナショナリズム	
昭和52	4959	ヨーロッパ精神史におけるフェルトヴェングラー問題の対象化	
昭和52	4960	アメリカの対ソ政策と抑止論	
昭和52	4961	核意識の動向	
昭和52	4962	条件付救済命令の違法性について	
		「4963～4965」は、昭和53年度修士論文	
昭和52	4966	英国病	
昭和52	4967	医療事故の持つ性格及び特質の分析及び研究	
昭和52	4968	根抵当権の付従性と新法の特質	
昭和52	4969	印刷された著作物の複写機器による複写複製と著作権制度	
昭和52	4970	狭山事件の背景を探る	
昭和52	4971	女性の地位と史的変遷について	
昭和52	4972	交通事故における損害賠償 -人身損害の算定-	
昭和52	4973	プライバシー権の諸問題	